



UD TRUCKS

Quon 2017年モデル以降 ブレーキディスクのメンテナンスについて

※Quon 2017年モデル から採用しております、ブレーキディスクのメンテナンスについて展開致します。

※ブレーキディスクに関して4つのポイントについてお伝えします。

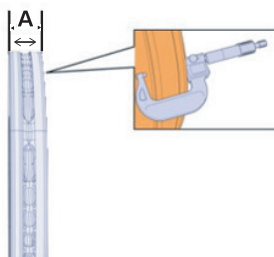
1. ブレーキディスク 厚みの測定

□ 対象車両と点検時期

対象車両 : Quon 2017年モデル以降 全車型 (除雪車除く)
点検時期 : 12カ月点検時

□ 点検要領

マイクロゲージ (メータ) にてディスクの厚みを測定する
下イラストの【A】部を4か所測定する



□ 整備基準値

車型	車軸	ホイールサイズ (インチ)	ブレーキディスク 厚み (mm)
トラクタ	前軸	22.5	37～45
	後軸	22.5	40～45
3 軸単車	前軸	22.5	37～45
	後軸	22.5	40～45
4 軸単車	前軸	19.5	37～45
	後軸	19.5	37～45

※整備基準値以下の場合交換を推奨する

2. ブレーキディスク ディスク表面の状態

□ 対象車両と点検時期

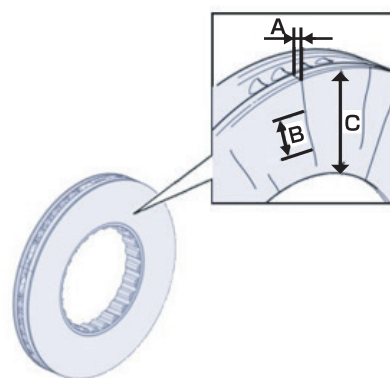
対象車両 : Quon 2017年モデル以降 全車型 (除雪車除く)
点検時期 : 12カ月点検時

□ 点検要領

- ①スケール等を用いてブレーキディスク表面(右イラスト)【C】の半分【B】以上の放射状の亀裂長さがあるか確認する
- ②ブレーキディスク(右イラスト)【A】に亀裂の有無を確認する

□ 整備基準値

- ①表面の亀裂が【C】の半分以上がある場合
- ②【A】の箇所の亀裂が0.5mm以上
※整備基準値以上の場合交換を推奨する



3. ブレーキディスク 振れについて

□ 対象車両と点検時期

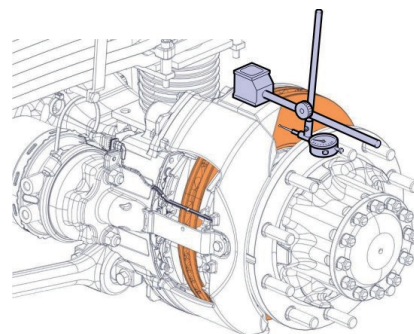
対象車両 : Quon 2017年モデル以降 全車型 (除雪車除く)
点検時期 : 12カ月点検時

□ 点検要領

ダイヤルゲージを右イラストのようにセットし、
ハブをゆっくり回しながらブレーキディスク表面の振れを確認する
※測定する際はブレーキパッドを取り外して実施すること

□ 整備基準値

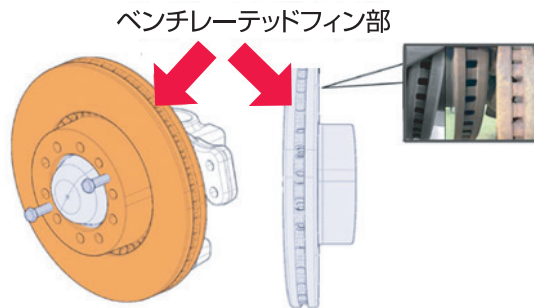
基準値 0.2mm
※整備基準値以上の場合交換を推奨する



4. ブレーキディスク ベンチレーテッドフィン部の点検

□ 対象車両と点検時期

対象車両 : Quon 2017年モデル以降
【ホイールサイズ19.5インチ】
【4軸低床車(全輪)及び3軸低床車(後輪)】
点検時期 : 12カ月点検時



□ 内容

タイヤ・ホイールを外し、ブレーキディスクのベンチレーテッドフィン部外側および内側の
錆状態を目視にて点検

※ブレーキディスクのベンチレーテッドフィン部は通常錆（軽微な錆）が発生しています。

⇒ **錆が軽微な場合は機能上問題が無い為、以下の点検は不要となります。**

※錆が層状腐食まで至っている場合、下記の点検要領を用いて点検の実施をお願い致します。

□ ブレーキディスク錆の状態(例)

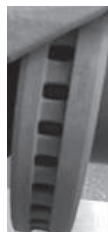
<内側>

層状腐食



<外側>

新品



軽微な錆



軽微な錆



層状腐食



層状腐食



<層状腐食例>



□ 点検要領

層状腐食が確認された場合は錆を落としてベンチレーテッドフィン厚さをノギスを用いて測定する

錆落とし前後の比較(例)

錆落とし前



錆落とし後



ベンチレーテッドフィン厚みの測定(例)



□ 整備基準値

前軸: 14.5mm以下 (新品参考値: 16mm)

後軸: 11mm以下 (新品参考値: 13.5mm)

※整備基準値以下であれば交換を推奨する

おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証・補償の対象になりませんのでご注意ください。